

神野山一带に関するサウンディング型市場調査結果概要

本村では、神野山一带における「滞在時間の延長、賑わいや消費の創出」に向けて、民間活力導入の事業者公募を検討しており、自由な発想に基づく幅広いアイデアや事業条件の意向を把握するため、サウンディング型市場調査を実施しました。

つきましては、調査結果を取りまとめましたので、その概要を公表いたします。

1. 実施スケジュール

日 程	スケジュール
令和6年2月9日	実施方針の公表
令和6年2月9日～2月21日	現地見学会・説明会の参加申込受付
令和6年2月22日	現地見学会・説明会
令和6年2月25日	質問受付期限
令和6年2月27日	質問回答日
令和6年2月22日～3月5日	サウンディング参加申込受付
令和6年3月21日	サウンディングの実施
令和6年3月29日	実施結果（概要）の公表

2. 参加状況

(1) 現地見学会・説明会

開催日時 令和6年2月22日（木）午後2時～

場 所 森林科学館 研修室

参加者 2事業者

内 容 事前説明会及び現地見学会（調査概要、施設の説明、質疑応答、現地案内など）

(2) 個別対話

日 時 令和6年3月21日（木）

参加者 4事業者

3. 提案を求めた内容

- (1) 事業の提案（事業目的、スケジュール、魅力向上の方法等）
- (2) 施設の設置計画（対象施設の整備案・範囲等）
- (3) 価格提案（村負担、使用料の額等）
- (4) その他（事業実施に関する課題及び意見等）

4. サウンディング結果概要

民間事業者から提案された主な概要は次のとおりです。

(1) 事業の提案（事業目的、スケジュール、魅力向上の方法等）

- ・ レストランでは山添村に特化した尖ったメニューを提供していく。
- ・ 地元野菜や羊肉を提供していく。
- ・ 茶の里会館西側斜面を活用しグランピングを設置する。
- ・ めえめえ牧場の展望台を活用しグランピングを設置する。
- ・ 星空を活用する。
- ・ 道の駅と位置付ける。
- ・ ターゲットはファミリー層及びインバウンドが最適。
- ・ 宿泊施設を設置し、仕様は簡易なドリトミーからサウナ付きのラグジュアリーまで幅広く対応させる。
- ・ 神野山への集客ツールとして次のような提案がありました。
 - ・ 茶摘み体験、農業体験、林業体験等、山添村ならではの体験
 - ・ 森林を活用したアクティビティ（ジップライン、ツリークライミング等）
 - ・ 子供向け遊具の整備
 - ・ フォトスポットの設置
 - ・ 登山リフトの設置
 - ・ リトリート体験
 - ・ サバイバルゲーム
 - ・ トレイルランニング
 - ・ レンタサイクル
 - ・ バギー

(2) 施設の設置計画（対象施設の整備案・範囲等）

茶の里会館（通称：映山紅）

レストラン、飲食機能が付属したフリーレンタルスペース

ログハウス

子供向けの遊び場（秘密基地）、宿泊施設として利活用

生産物直売所（通称：みどり屋）

お土産販売、食品加工場、直売所、バーベキューエリアの食品販売所

屋外調理施設

キャンプ場併設

林間広場

イベント広場として利活用

炭焼窯

体験スペース

めえめえ牧場

畜産の強化、羊以外の小型動物の導入

森林科学館

屋内遊具施設、酵素風呂、簡易宿泊施設、シャワー、アトリエ、天文台

健民運動場

グランピング、RVパーク、サウナ、ドッグラン

(3) 価格提案（村負担、使用料の額等）

- ・指定管理制度の導入

(4) その他（事業実施に関する課題及び意見等）

- ・各種許認可に対する村からの働きかけが必要。
- ・JV（共同企業体）の形態での運営も視野に入れる。
- ・次のインフラ整備が必要
 - ・ハイキング道の整備
 - ・トイレの整備（現状、和式汲み取り式）
 - ・駐車場の確保、整備
 - ・現状の活動と民間事業者が行う事業の住み分け及び協働が必要
 - ・安定した飲料水の確保

5. 今後の予定

いただいたご提案を参考に、事業化の実現に向けて村としての構想の検討を進めます。

その後は、必要に応じ再度サウンディングを行いながら事業実施の可否も含めて、事業手法や事業期間、公募条件等の具体的な内容を検討します。

これらの検討を通して、引き続き神野山一帯の滞在時間の延長、賑わいや消費の創出に向けた取り組みを推進していきます。